

新発想の業態連携による医療施設のデザイン開発

Inudoh Pediatric Clinic

大野 豊^{*1} 太田 博之^{*1}
Yutaka Ohno Hiroyuki Ohta
山下 至^{*2}
Itaru Yamashita

【要旨】

様々なビルディングタイプの設計施工による経験に裏打ちされた当社技術と、各分野のソフト・サービスのノウハウを融合させることで、業態連携による新しいビジネスモデルの提案をする。今回のモデルは、豊富な知識・経験を持たれる犬童道治氏の新しい小児科医療を実現する建物をデザインするにあたり、株式会社ジャクエツの幼稚園ビジネスで培ったノウハウを融合することで「新しい子供の空間づくり」を目指した。

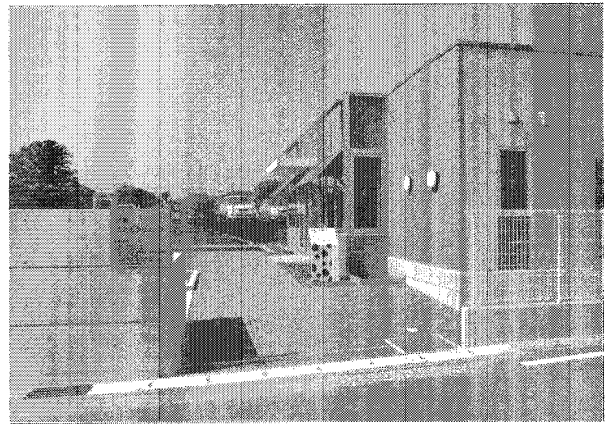
この業態連携によるビジネスモデル提案は、福祉機器や農業土木・園芸カウンセリングサービス等のノウハウを参画させて福祉介護施設・高齢者病院をデザインするなど、カテゴリーを入れ替えることにより、更に新しいビジネスモデルへと発展する可能性がある。2006年度グッドデザイン賞「新領域部門」受賞。

【キーワード】 クリニック 営業支援 グッドデザイン

1. 受注拡大への取り組み

当社は、施工物件・設計施工物件を通じて、事業や社会に貢献し、その実績により顧客の信頼を受け、新たな受注の獲得をしている。設計部門としても積極的に受注拡大の新しい取り組みを模索している中、医学博士犬童道治氏より牛久市の小児科クリニックの設計相談を受ける。

設計の過程の中で株式会社ジャクエツの幼稚園ビジネスで培ったノウハウに触れ、異業種とのコラボレーションによる新しいビジネスモデル提案の可能性を感じると共に、当物件を一つのプロトタイプとし、営業支援ツールとして役立てることが出来るのではないかと考えた。



2. 工事概要

工事件名：犬童こどもクリニック新築工事
工事場所：茨城県牛久市上柏田4丁目54-10
工事期間：平成17年3月1日～平成17年8月31日
敷地面積：499.01㎡
建築面積：212.76㎡
延床面積：212.76㎡
構造規模：鉄骨造1階

3. 新しいビジネスモデル提案

3.1 施主の思い・理想

平成16年11月、当時、総合病院の小児科に勤務されていた犬童氏よりお話を頂き、設計を開始する。小児科は文字通り対象者が体力の無い幼児・子供である。一般的に患者が待合室で病気をもらって、再び来院したり、院内感染が非常に多く発生する。

犬童氏は、「開業して、そうならないための方法を示したい」と強く感じた。たとえば、熱ありと熱なしの待

合室を分けたり、授乳室をくつろげる部屋にしたり、感染症専用の部屋を作ったりというような様々なアイデアと、「カフェテラスのような誰もが訪れやすいクリニック」「子供たちがいろいろなものに触れることで感受性を高めることが出来るクリニック」というコンセプトを抱いていた。

3.2 当社の技術

犬童氏の思いを実現するため、子供達のための診療所にふさわしい形状・色彩・素材の提案、子供達の想像をふくらませるような建築空間と一体化した仕掛け、保護者と子供が安心の出来る素材の提案といったデザイン課題を策定した。

具体的には、

- ・子供視線の遊具・家具・什器・キャラクターデザインの取り入れ
 - ・子供達のために計画された様々な仕掛け・素材・色彩
 - ・子供の安全を最優先した床材・舗装等材料の選択
- という提案が考えられ、その実現のために異業種（当施設の場合は幼稚園ビジネス）のノウハウを組み込み、当施設を「業態連携による新しいビジネスモデル」のプロトタイプとして位置付け、コンセプトメイキングすることとした。（図-1）

3.3 異業種のノウハウ

「新しい子供の空間づくり」を目指すパートナーとしては、数々の幼児施設で培ったノウハウ・実績を持つ株式会社ジャクエツに協力を仰ぎ、幼児施設のノウハウを取り込んだ新しい小児科クリニックが実現することになった。

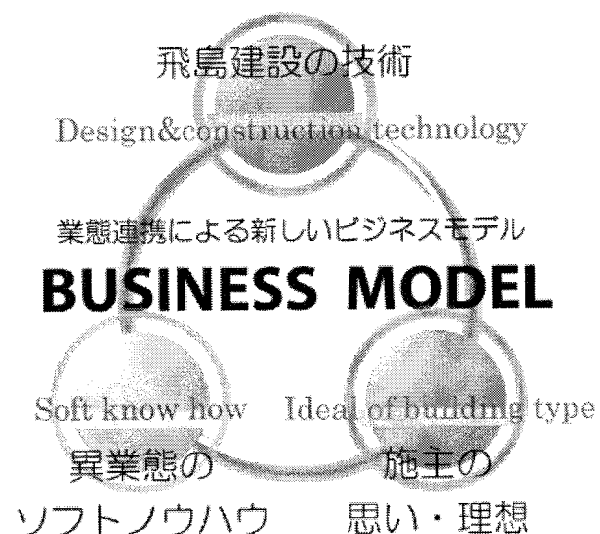


図-1 ビジネスモデル概念

4. 計画・デザイン

4.1 エクステリア

外壁にはコスト検証の結果、ALC版を使用。小規模建物でALC版を見せ場とするのは難しいが、あえてコーナーパネルを使用せずに、ビビッドな色分けにより、建物を積み木のような構成にしたり、リブパネルを窓下に使用することで単窓の単調さを無くす工夫をしている。

（写真-2）

4.2 インテリア

内部空間では「熱なしの患者の待合室」と「熱ありの患者の待合室」を分けている。両待合室は空間的には、中央の受付カウンターを介してつながっているが、空気の流れを、熱ありゾーンに導くことにより、院内感染を防止。又、感染症の患者には、別入口から入室可能な隔離診察室を2室、用意している。

中央部のオープンカウンターにより、一般患者待合と熱患者待合を緩やかに分離した今までにないオープンなプランは、犬童氏の強い思いを具現化出来たと感じている。（写真-3）

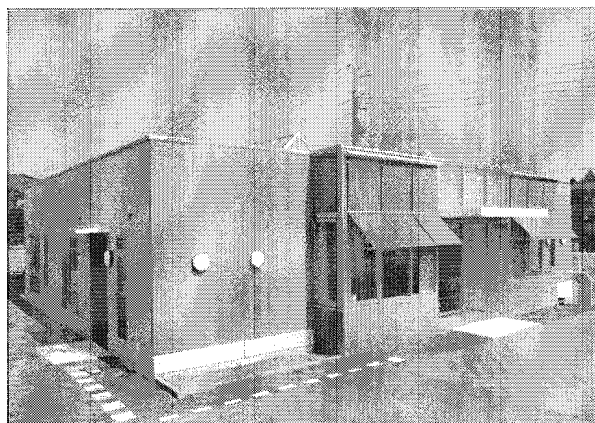


写真-2 南西側外観



写真-3 熱なし患者待合室

4.3 ユーザビリティ

転んでも危なくないクッション性の高いゴムチップインターロッキングやささくれることのないデッキ材等、子供たちの安全を最優先した材料を選択した。風除室のドアには、リニアモータードアを採用。少しの力でも開閉可能なアシスト機能と、体にドアが接触した場合でも衝撃なく自動開放するセーフティー機能が装備されている。各待合室のWCには大人用と子供用の便器が設置され、トイレトレーニングが可能になっている。

(写真-4)



写真-4 熱なし患者用WC

4.4 エコロジー

トップライト採光を取り入れると共に、南側にはメカニカルオーニングを設置し、建物の外観イメージを豊かなものにしながら、省エネルギーにも貢献している。待合室の床には、無垢フローリングを使用し、無添加ワックスである「蜜蝋ワックス」を塗布することとした。

(写真-5)

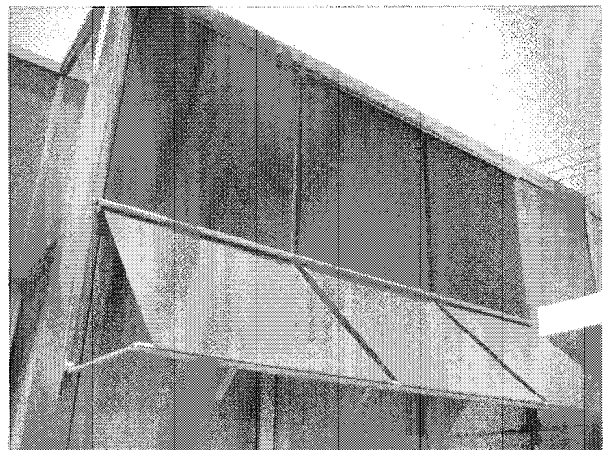


写真-5 オーニング

4.5 ガジェット (仕掛け)

鮮やかなオーニング・模型機関車が走る受付カウンター・様々な絵が掛けられることを想定した壁等を施主と共に考案。訪れる子供たちにとっては、小さな博物館のような雰囲気を出している。

5. 2006年度グッドデザイン賞

竣工後まもなく2006年度グッドデザイン賞の募集が始まり、社会的に認知された賞に応募することは、対外的にも大きなアピールになり得ると感じ、参加を決定し、「新領域部門」で受賞した。ゼネコンの取り組みとしての実験性、ゼネコンからの異業種交流の場づくりへのノウハウ提供、小児科医院の減少を考えた時の1つのモデルケースとしての評価を審査講評として頂いた。

6. 今後の展開

犬童氏の小児科医療にける理想と、当社の技術・提案力と、株式会社ジャクエツの幼稚園ビジネスのノウハ

ウ。この業態連携・コラボレーションによるビジネスモデルは、提案する施設、融合させるソフト・サービスのカテゴリーを入れ替えることにより、更に新しいビジネスモデルへと発展する可能性がある。今後は、福祉介護施設・高齢者病院をデザインする時に、農業・園芸のカウンセリングサービスのノウハウを参画させる等、新しいビジネスモデルを開発・提案していきたいと考えている。

本計画地には、当施設を中心とし、薬局や他科クリニックが集積しつつある。医療モール開発モデルとしても捉えられ、地域が活性化していく手応えも感じている。

Summary : Tobishima Corporation, with its technological abilities backed by wide experience in design and construction of various building types, proposes new business models combining different business categories by merging the know-how of various business fields related to cultural and amenity services. In the design of a clinic building for Dr. Michiharu Inudo, who has profound knowledge and experience, to materialize new pediatric services, the authors intended to create a new space for children by incorporating the extensive know-how of Jakuetsu Co., Ltd. gained from its kindergarten business.

This proposal for a business model combining different business categories can develop into other models by changing the categories, such as the design of welfare/care facilities and geriatrics hospitals incorporating the know-how of welfare apparatuses and agricultural engineering/gardening counseling services.

This result depending, we were awarded the new territory category of the Good Design Award in 2006.

Keywords : clinic, business support, good design